



## 学校だより

# みどりの風

令和5年2月17日  
学校評価号(自由記述欄)  
町田市立三輪小学校  
校長 高澤 善幸



## 学校教育に関するアンケート(自由記述欄)の結果報告

校長 高澤 善幸

学校評価アンケート、自由記述欄の御意見の報告をさせていただきます。本年度も新型コロナウイルス感染症への対策を講じながらの教育活動でしたが、学芸会の再開や40周年関連行事の開催など、お陰様で多くの活動を実施することができました。保護者・地域の皆様におかれましては、様々な教育活動への御協力をいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。文中の言葉は敬体で書かれていましたが、文字数を抑えるため、いただいた御意見は常体に直して記してありますので御了承ください。

### 《学校教育》

- ・学校の教育が生きる力に繋がらない教育で自主自律に欠けている。今の教育が将来に必要なことなのか、もう一度考え直してほしい。比較対象になる通信簿の廃止など。今までのやり方の方がスムーズにできるかもしれないが、同じやり方では生きていく大人にならない。生きる力、へこんでもバネでうちかえす、強い人に育ててほしいと思い、そのためには何が必要か・・・情報が多量中、心が落ち着かない環境だが、その情報を見極めていかなくてはと思っている。※見えるものが全てではなく、目に見えないことにフォーカスすると、大切なXが見えてくる。

見える学力、見えない学力という言葉があります。関心・意欲・態度等、目に見えない部分も学力の大切な要素であり、そこに焦点を当てて子供たち見ていこうとするものです。この考え方は、現在の教育にも取り入れられています。通知表は人と比較するためのものではなく、基本的に子供たちの学校生活の様子をお知らせするものです。様式は学校ごとに異なります。保護者の皆様に学校での様子を知っていただき、子供たちが自己の様子を振り返ったり、新たな目標を設定したりする上での一助としていただければと思います。今年、三輪小学校では、教師の研鑽の場としての校内研究で国語を取り上げ、指導法の研究に取り組みました。研究の柱の一つに対話の学習を取り入れました。互いの意見をやり取りする中で、自分の考えを広げたり、深めたりする学習です。三輪小学校では、対話学習を「つながりタイム」として、基礎的・基本的な学習と共に大切な学習として捉えています。自分たちで課題を解決する力を育むなど、未来を切り拓く子供たちを育てるために、いただいた御意見を参考にしながら、今後も望ましい教育のあり方について考え、実行してまいります。

### 《通知表の所見の内容》

- ・通知表の所見の欄は、学習内容を書く欄なのか？良いところ、頑張っているところ、個々のことを書いてほしい。

通知表の所見欄には、子供たちの学校生活の中で、学習だけでなく、行事や係活動、当番の様子、掃除、休み時間の友達との触れ合いなど、学期中の学校生活の中で特に目立ったことをお伝えするようにしています。学習のことで考えると、学習内容について触れる場合もありますが、学んだ内容の定着度や学んでいる際の様子など、子供たちの学習状況を幅広くお伝えするように努めています。子供たちの良いところはもちろんのこと、改善してほしい課題も記入させていただいています。子供たちの学びの様子をお伝えすると共に、新たな学期、学校生活への子供たちの期待につながるような内容を所見でお伝えできるよう今後も努めてまいります。

### 《持ち物》

- ・持ち物の多さが、改善されていない。

昨年度、持ち物が多くランドセルが重いという御指摘を受けておりました。音読の宿題が出る際の国語の教科書など、どうしても持ち帰らなければならない場合もございます。ただし、できるだけランドセルの中身を軽くすることは児童の負担を軽減する上で大切なことですので、再度職員の間で話し合い、少しでも軽くできるように努めます。

### 《Jアラートに基づく避難訓練》

- ・先日、子供からミサイル着弾を想定した避難訓練を行い、とても怖かったと聞き大変驚いた。事実であれば、再考いただきたい。三輪小学校においても、子供たちの健全な心身発育のため、時流に流されることなく慎重な御判断をしてほしい。

本年度、Jアラートによるミサイル発射を想定した訓練を、三輪小学校で初めて実施しました。内容は窓から離れて壁際に集まること、上の階の子は下の階に移動することなどを中心に行いました。学校安全には、生活安全、災害安全、交通安全などがありますが、様々な危険リスクを回避するため、万が一を想定しての訓練を行っています。ただ、今回は、事前の周知が少なかつたことを反省しています。どのような目的で、いつ実施するのかなど事前に子供たちや保護者の皆様にお伝えすることで、いたずらに不安を煽ることなく実施できたかもしれません。連絡が十分でなく、御心配をおかけしたことをお詫びいたします。Jアラートによる訓練は、ミサイル発射を想定したものだけではありません。次年度は、地震等の災害を想定して、防災無線などと連携した訓練を行うよう計画していきます。どのような訓練を行うのかは、また、皆さまにお伝えしてまいります。

### 《感染症対策》

- ・マスク着脱の自由を。
- ・新聞で「給食の時間は会話をしてもよい」との方針変更の記事を読んだ。今の低学年生は楽しい給食の時間を知らないと思う。改善できる範囲で、楽しい給食の時間を取り戻してほしい。

給食時のマスクは外してもよいことになりました。三輪小学校でも換気をするなど、ルールに則って給食時の会話を実施するようにしています。一方で、これまでの給食でも、一定時間おしゃべりをしないで食べる「もぐもぐタイム」というものがあります。おしゃべりに気を取られて、食べきれないことをなくすために行っていました。学校では、基本的には、食べ終わった後、マスクをしてから話すことを推奨しています。

### 《保護者への連絡》

- ・子供が怪我をした際、早退するような怪我でなくても、先生が知っている状況を保護者に連絡していただくと助かる。

学校では、基本的に病院に行く程でなくても、大きな怪我はできるだけ御家庭に連絡するようにしています。ただし、怪我の程度の判断には捉え方の違いがあります。また、担任が怪我をしたことに気付かず子供を下校させてしまう場合などがあるかもしれません。また、怪我をしたきっかけなどについて家でお子さんが話をすることもあります。担任から連絡がなくとも、気になることがありましたら、学校までお問い合わせください。

### 《心のアンケートの取り扱いについて》

- ・心のアンケートを実施してもらっていることは心強い。ただ、不安な気持ちをアンケートに書いた生徒やその保護者にその後の対応をもう少しわかりやすくフィードバックしてほしい。

子供たちの不安や悩みを早期に発見するために、学校では月に一度心のアンケートを行っています。気になることが「ある」に丸を付けた場合には、担任が子供から直接具体的な内容を聞き取り、すぐに対応できるものは、解決するようにしています。例えば継続した指導が必要な場合など、保護者の方にも御連絡させていただき解決を図ってまいります。いずれにしても、できるだけこまめなフィードバックをすることを心掛けてまいります。

### 《休憩時間の取り方》

- ・学校生活において「時間が無くて〇〇ができなかった」という声を聞くが、授業参観の際にも体育からの算数等、移動時間や着替え時間、支度時間が本当はないのだと納得した。他の子ども休み時間にトイレに行ったらもう水分をとる時間もなかったとよく言っているそうである。そのあたりの配慮をお願いしたい。

副管理職になったばかりの頃、運動会の練習から職員室に戻った職員がわずかな水分補給だけで、すぐにまた次の授業のために教室に戻っていく姿を見て、教師としての仕事の大変さに改めて気付いたことがあります。子供たちに時間を守った行動を身に付けさせるために、チャイム着席に力を入れて指導している教員はたくさんいます。ただ、トイレや水分補給などは、健康な生活を行う上で欠かせない行為であり、そのための時間は当然確保する必要があります。夏場の校庭体育などでは、校庭に水筒を持っていき、時々水分補給を行い、熱中症対策を講じながら運動に取り組んでいます。さすがに好きなときに水分をとりながらの授業はできませんが、トイレや水分補給など、我慢できないときは、授業中でも声をかけるよう子供たちに呼び掛けていきます。

### 《宿題について》

宿題が多く取り組む時間がかかるため、苦手なところを補う家庭学習を日頃する時間がなかなか取れない。宿題が家庭学習の習慣付けのために出されている部分があるのならば、一部自由な内容での家庭学習を宿題として認められるようなフレキシブルな宿題の出し方にしてはどうか。

学んだ内容の定着を図ることは、宿題の主なねらいです。御指摘の通り、家庭学習を習慣付ける意味合いもごさいます。学年に応じて、自主学習など何に取り組むか自分で選択する裁量度の高い宿題を出す場合もあります。補習のための時間が取れないなど、軽減すべき理由がございましたら、必要に応じて個別に対応することも可能ですので、担任まで御相談ください。

### 《欠席時のタブレット端末の利用》

- もう少しパソコンを積極的に取り入れていただきたい。登校できないときもあまり活用できなかったように感じた。特に、算数が少人数制でオンラインを行えないと長くお休みする場合どんどん分からなくなってしまう。できないこともあるかとは思いますが学びが遅れてしまわないようにするとよい。

欠席の場合などには、基本的に御希望があれば、オンラインによる配信を行い授業の様子を御覧いただけるようにしています。ただし、台数に限りがあるため、授業で使用する場合、配信ができない場合もございます。授業の内容によっても変わってきますので、その都度学校にお問い合わせください。

### 《学校からのお便りについて》

- ペーパーレス化を希望する。学校からのお便りは保護者宛だが、現状、子供が渡すのを失念したり紛失したりというケースが少なくないと思われる。個人的に出先で内容確認することが多々あり、スマホにデータとして保存しておきたい。用紙代やトナー代といったコスト面等の負担も減り、印刷や配布に取られる時間もなくなる。

#### ◆具体的な方法

- 先日の学芸会のアンケートのように、Classroomの保護者会フォルダーに案内し、そこから見る。スマホの場合は、通知が出るので対応可能。スマホをお持ちでない方も、子供が毎日Chromebook(タブレット端末)を持ち帰っているので、開いてチェックは可能かと思われる。
- コロナの健康観察カードも、欠席、遅刻、早退連絡のように、フォームにて登録希望します。

ペーパーレス化については、学校でも対応を考えています。低学年は、ランドセルが重くなるためタブレット端末を毎日持ち帰っている訳ではないので、高学年を中心にClassroomへの掲載なども視野に入れながら、考え始めるところです。健康観察カードも、朝の欠席連絡と同様に実施できるかどうか、検討を進めているところです。

### 《classroomの利用について》

- classroomは便利だが、利用方法について疑問を感じる。夜遅くだったり、長期休業中であったり、長文で頻りに連絡が来ることがあった。家庭にいる間は、学校から気持ちを離れさせたい。子供たちへの連絡は、学校にいる間に済ませてほしい。宿題や明日の連絡が保護者の携帯に届くのは困る。

何をどのように、どこまでお伝えするのかは、難しいところです。今後、ペーパーレス化のこともあり、益々classroomの利用頻度が上がってくることが予想されます。ただ、時間が不規則であると、常に子供たちがチェックしなければならない状況も生まれてくるので、配信する側にも一定のルールを設ける必要があると考えています。いただいた御意見を基に、利用の仕方について教職員で議論を進めていきます。

### 《タブレット端末の利用制限》

- タブレット端末に利用制限がかかると聞いているが、そのように見えないのが気になる。家での扱いがまるでおもちゃのようで、そんな使い方をしていてよいのかと聞いても、制限されないから良いという返事で納得できない。一応、ドリルに取り組んでいる姿も見かける。

学校では、タブレット端末の利用の仕方について、その都度必要な機能のみを使用するよう指導しているところです。ある程度の制限はかかりますが、現実的には抜け道はたくさんあります。ですので、やはりルールを設けて、それを守るよう指導を重ねていくことが大切になります。制限されないから良いということではありませんので、御家庭でもお子さんの利用の仕方について話し合ってみてください。

### 《新型コロナウイルス感染症への対応》

- ・新型コロナウイルス感染症の発生状況をもう少し教えてほしい。
- ・学級閉鎖になった学年、クラスぐらいいは知らせてほしい。小学校での感染状況がまったく分からない。陽性者が何人とか、具体的な人数を週一くらいで教えてほしい。

新型コロナウイルス感染症による欠席者が増え、その後もさらに広まる可能性がある場合などには、学級閉鎖となります。ただし、その場合、感染している人数や学級閉鎖になるクラスを公表することはありません。これは、町田市内の各学校で同じ対応です。御理解いただければと思います。町田市内の感染者数は、町田市のホームページにて保健所の情報として確認できますので、そちらを御利用ください。

### 《生活指導面における対応》

- ・良くないことをした子供がいたとき、クラス全員が禁止になるのではなく、ルールを守れるようになるまで、当人のみ禁止にするという対応もあればと思う。(連帯責任になることが多いように感じる。)

廊下を走った場合、元の場所に戻って歩き直しをさせることがあります。基本的には、走った子だけがやり直します。(もちろん、一緒に走っていた子がいたら、その子もやり直します。)一方で、休み時間を終えて教室に戻る際、ボール当てを続けていて、教室に戻るのが遅くなったとします。その場合、ときにクラスのルールを破ったということで、全員がボールの使用を中止とすることがあります。すると、自分がルールを破った訳でもないのに、使えなくなる子供が出てきます。御指摘のケースは、こうした場合を想定してのことかと思われます。これは、自分が約束を破るとみんなが使えなくなるということを意識して行動してほしいという思いを込めての指導でもあります。もちろん、連帯責任ばかりだと、きちんと約束を守って行動している子がやる気を削がれることにもなるので、過多にならないように気を付けながら、クラスの状況なども含めて考えていきます。

最後に、本年度も皆様からいただき三輪小学校の教育活動の良さに触れて書かれた御意見を紹介いたします。本年度は、児童による自己評価は、一部の項目を除き、例年通りか若干の向上が見られたのですが、保護者の皆様による肯定的な評価が概ね5%以上落ち込む項目が多くなる結果となりました。皆様の御意見を真摯に受け止め、より望ましい教育活動の実現を目指して取り組んでまいります。本年度もアンケートへの御協力をいただき、ありがとうございました。

- ・入学前より字がきれいに書けるようになった。「少しでも曲がったり、ゆがんだりすると直される。」と本人は大変そうだが、泣きながらも諦めずに一生懸命練習したおかげで、きれいに書けるようになったのかなと思う。
- ・担任の先生は優しくて、1年生の子供も楽しく学校に行けている。連絡ノートで保護者とも連絡が取れて、細かいことも気にかけてくれる。とてもよい先生だと思う。
- ・子供のことで気になったことを連絡してもらったり、気にかけてもらったりしてありがたい。
- ・いつも丁寧に対応してもらい、感謝しかない。
- ・子供が学校に行くことに幸せを感じながら毎日を過ごしている。先生や友達みんなにとっても感謝している。
- ・学芸会や運動会などの経験を通じて一生懸命取り組むことの大切さや仲間と作り上げることの楽しさを学んでいると感じている。
- ・運動会や学芸会が短時間になりとても助かる。また、保護者会もオンラインで、後で動画が見られるのも大変助かる。
- ・とても楽しく前向きに登校できていて、先生方に大変感謝している。
- ・今年もコロナ禍で厳しい状況の中、行事に力を入れてもらうことで、子供たちの成長を実感できた。先生も子供たちも頑張りすぎている？と心配するときもあったが、今の状況で仲間とことん頑張る、作り上げるという経験ができたことは一生の宝になると思った。5、6年生で作り上げた音楽やダンスを一度だけでなく、何度も披露する場があったことで、完成度や自信が付き、やらされたものから、自分たちのものとして誇りをもてるようになっていた。子供たちの可能性は無限大ということを親子でとても実感し、素晴らしいと思った。
- ・他校に行く機会があり、比較すると三輪小の床はきれいだと思った。
- ・先生が大好きで学校に行くのが楽しいと話している。子供が渡した花を押し花にして大切にするなど、子供への愛情を感じる。こんな優しい先生がもっと増えればよいのに。先生には感謝しかない。どうかいつまでも優しくて気さくな先生でいてほしい。